

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[55]歳、勤続年数[35]年、現場経験年数[35]年、階級[司令補]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[38]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[15]年、階級[消防士長]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[29]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[10]年、階級[消防士長]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	30歳、11年、消防士長、過去に1・2回、隊員

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	部署位置の指示、安全管理	
経過2	B	運転席側アウトリガー等の安全管理	
経過3	C	アウトリガー張り出し等の操作	
経過4	D	助手席側アウトリガー等の安全管理	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。その他：現場周辺の立入り規制があったため

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

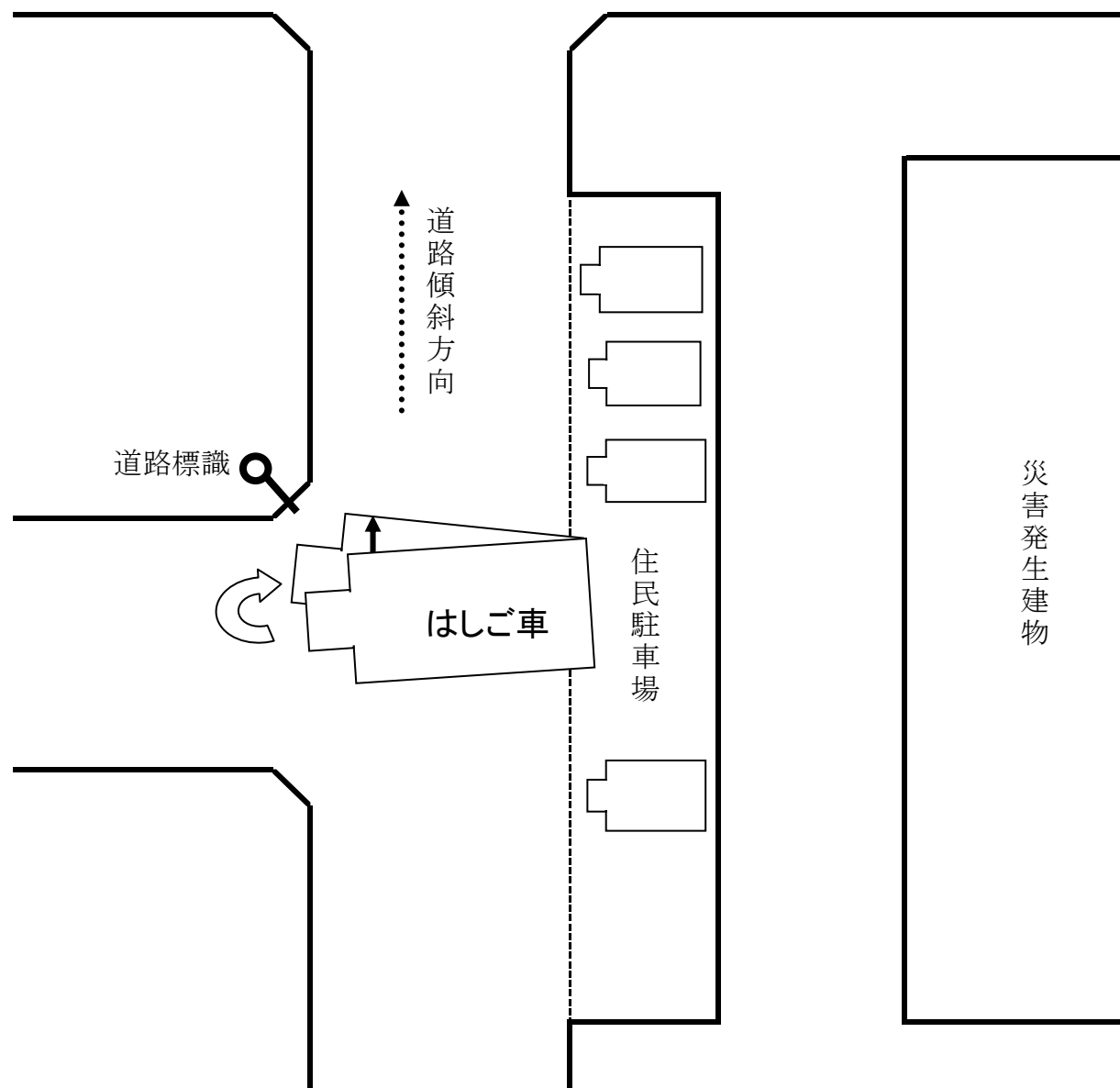
・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

事例発生状況図



【状況説明】

現場到着時、道路傾斜に並行に部署したが、発災建物まで距離があり部署不能と判断し、道路傾斜に垂直に部署した。(駐車車両の障害もあり)

アウトリガーを張り出し、ジャッキを降ろしたところ、車両の前部が50cm程度右側に動き、道路標識にバスケットが接触しそうになった。